



vol.2.5

金糸雀町

目次

1

チャールズ・ディケンズ

／弦間沙羅

2

京極夏彦／三浦恭子

3

村山早紀／中村綾

ぼくの心をこんなにも長
らく独り占めしていた話
題に捧げるにしては、一
章というのじゃいかにも
物足りないくらいだ。
チャールズ・ディケンズ

何
だ
か
酷
く
男
が
羨
ま
し
く
な
つ
て
し
ま
つ
た。
京極夏彦

それぞれが、同じ時の中
を、同じ街の同じ場所で
交差しながら、それぞれ
の思いを抱いて、生きて
いるのだ

村山早紀

ディケンズが好きだ。

Charles Dickens

チャールズ・ディケンズ

- 英国を代表する国民的作家
- 自身の体験に基づく優れた描写
- 社会への鋭い眼差しとユーモア



ディケンズの生涯



Wikipedia チャールズ・ディケンズのページ
掲載写真を使用(パブリック・ドメイン)

1812年、現在のポーツマスに生まれ、のちに一家でロンドンに移住した。貧しい生活の中、学校にもほとんど通わせてもらえず、12歳の時に靴墨工場に働きに出された。

独学で勉強するなど努力を重ね、新聞記者として記事や見聞スケッチを描くようになり、24歳で短編集『ボズのスケッチ集』を出版し、文壇デビューした。決して順風満帆とはいえない人生の中で、数多くの魅力的な作品を残した。1870年、58歳で亡くなるとウェストミンスター寺院に葬られ、英国を代表する作家として世界中で読まれ続けている。

代表作に『クリスマス・キャロル』、『オリバー・ツイスト』、『二都物語』、『デイビッド・コパフィールド』、『大いなる遺産』などがある。

＜時代の窓 -ヴィクトリア朝-＞

ディケンズが作家として活躍した時代はヴィクトリア女王の治世。産業革命を経験した当時の英国は「世界の工場」と呼ばれ、世界の中心として繁栄していました。しかし、その栄華の影には都市部での貧困や犯罪、汚染、労働問題など多くの社会問題がありました。ディケンズの作品はそのような社会背景のもとで誕生したのです。

おすすめの作品



『オリバー・ツイスト』

1838年出版の長編小説。

主人公は救貧院で育った孤児オリバー。過酷な環境に耐えかねた彼はロンドンへ向かうが、そこには盗賊たちの手が。そして、多くの困難の先に待っていたオリバーの運命とは。人間の良心と過酷さを描いた作品。

1834年施行の新救貧法への抗議が大きなテーマで、当時の社会を痛烈に風刺している。

『二都物語』

1859年出版の長編小説。

舞台はフランス革命期のロンドンとパリで、ディケンズとしては珍しい歴史小説である。無実の罪により18年間をバスターイーユ牢獄で過ごした医師マネットの娘ルーシー、彼女に思いを寄せる2人の青年、亡命貴族チャールズ・ダーニーと弁護士シドニー・カートン。革命に翻弄される彼らの生活、そして迎える劇的な結末。解説を見る前に読んでほしい。

『大いなる遺産』

1861年出版の長編小説。

孤児ピップの生涯を描いた作品で、彼の一人称で話が展開する。ある日、彼のもとに巨額の遺産が贈られるという知らせが届く。都会での紳士生活に憧れるピップだが、果たして期待通りになるのか。個性豊かな脇役たちにも注目したい。当時の拝金主義を批判していることで知られる後期の代表作。

〈ちょこっとこぼれ話〉

- 1992年～2003年の10UKポンド紙幣の肖像画はディケンズ
- 『クリスマス・キャロル』の日本語訳は明治時代から行われ、その数はなんと70種類以上
- 晩年の未完の作品は推理小説風



作家ディケンズの魅力は、なんといってもその描写力。当時の英国社会へ向けられた鋭い眼差し、緻密な設定、表情豊かな登場人物たち。暗い面を描きつつも溢れるユーモア。自身の経験に基づいた自伝的要素を含んでいたり、年を重ねるにしたがって作風に変化がみられるなど、作品を通して彼自身の人生や物事に対する姿勢が見えてきます。いずれの作品からも浮かび上がってくる生きた人間の姿。すぐ引き込まれてしまうでしょう。さらに彼の作品はその多くがたびたび舞台化・映画化されていて、死後150年たった現在でも各国で愛されています。みなさんも魅力たっぷりの彼の世界を味わってみませんか。

京極夏彦が好きだ。

京極夏彦の文章を読むと最初はゆつたりとゆらゆらした、しかし、どこか仄暗い気配を感じる。

私は京極夏彦の作品の中で、中禅寺秋彦（彼が営む古本屋の屋号に因み京極堂とも呼ばれている。）が主に活躍する百鬼夜行シリーズを愛読している。このシリーズは、主に終戦後の日本が舞台の推理小説である。しかし、一般的な推理小説とは異なっている。各地で起こる奇妙な事件を一つの妖怪と捉えて京極堂が「憑き物落とし」という形で事件を解決していく。個々の独立した出来事のように見えた様々な事件の関連性が見つかっていくとき、

長い説明がついてくる。そこもシリーズの醍醐味であるため、飛ばし読みをせず必ず読破して京極堂という男を味わってほしい。

私がこのシリーズの中で最も好きな作品は『霧新婦の理』である。刑事の木場修太郎は、世間を震撼させている「目潰し魔」の捜査をしている中、友人の川島新造に突き当たる。友人に対し不信感を抱きながらも彼は真相を追っていく。一方、女学生の呉美由紀は彼女が通う学院を巡る悪魔崇拜集団の噂を追っていく内に窮地に追い込まれてしまう。釣り堀を営む伊佐間一成は「蜘蛛の巣屋敷」と呼ばれる旧家・織作家の中で起きる連続殺人事件に巻き込まれてしまう。

次の文章へとページを捲る指が止まらなくなる。全ての事件が繋がったとき背筋に強烈な悪寒を感じる。事件を解決へと導く人物は京極堂ただ一人だけではない。強面だけど実は純情な刑事の木場、眉目秀麗で旧華族の出だが、躁病の気がある私立探偵の榎木津などなど。様々な人物の協力？がある。他にも大勢の個性の強い人物が登場するため、是非読んで楽しんでもらいたい。また、このシリーズは妖怪や民俗学など多方面から事件にアプローチする。そのような場面では必ず京極堂の気の遠くなるような長

全く接点がないように思われる三つの事件はどのような方向へ向かっていくのか？原作通り忠実に漫画化もされている『絡新婦の理』は法学部の学読に配架されている。

京極夏彦について

— 6 —

一九六三年 北海道小樽市出身。
一九九四年 『姑獲鳥の夏』でデビュー。
一九九六年 『魍魎の匣』で第四回日本推理作家協会賞長編部門受賞。
出典 大沢在昌・京極夏彦・宮部みゆき公式ホームページ
『大極宮』

村山早紀が好きだ。

村山早紀とは・・・

一九六三年長崎県に生まれ、『シェーラひめのぼうけん』（童心社）、『カフェかもめ亭』、『コンビニたそがれ堂』シリーズ（ポプラ文庫・ピュアフル）等の作品を世に送り出した作家さんです。

私のお薦めは『コンビニたそがれ堂』シリーズです！

本当になにかを探しているときだけに現れる不思議なコンビニ、「コンビニたそがれ堂」。やさしくあたたかな店の明かりを通り中に入れば、銀色の長い髪と金色の目を持つお兄さんが、おでんをかき回しながら出迎えてくれます。「いらっしやいませ。なにを探しにいらしたんですか？」どこか神社のきつねに似ているお兄さんは、風早の街の人々を見守り続け、訪ねてきた人が本当に求めているものを売っています。いいえ、人

間だけとは限りません。訪ねてくるのは風早の街に住む魂を持つお客さんたちなのです。

それぞれのお客さんが大切にしてきたものと思い出を、やさしく包み込むように語るストーリー。風早の街の四季を思い浮かべながら読むと、日常のあわただしさの中にゆっくり噛み締めたくなる気持ち溢れます。

世の中は見方によっては元気を無くすようなことばかりかもしれません。けれども、下を向いた顔を上げれば、案外幸せは近くにあるものだと思わせてくれる、そんな本です。電車の中で読むのにはご注意ください！

参考文献：村山早紀『コンビニたそがれ堂』、ポプラ社

二〇一〇年



図書資料情報



チャールズ・ディケンズ

- ・『オリバー・ツイスト』
戸山 1F 学習(文庫) 080 B004 58
- ・『二都物語』
中央 2F 一般図書 一般・新潮文庫 テ-3
- ・『大いなる遺産』
中央 2F 一般図書 一般・岩波文庫 赤229-9

京極夏彦

- ・『姑獲鳥の夏』
法学読 文庫・新書 講談社文庫 き-39
- ・『鉄鼠の檻』
法学読 文庫・新書 講談社文庫 き-39
- ・『絡新婦の理』
法学読 文庫・新書 講談社文庫 き-39

村山早紀

- ・『コンビニたそがれ堂』
戸山 3F 学習図書 913.6 ム031

※掲載した配架場所是一部です。詳しくはWINEをご覧ください。





LIVSの活動



- ・ わせとしょ探検隊！
～発掘！早稲田のBBN～

あの人気Web連載企画が帰ってくる！様々なテーマのもとで、図書館の利用方法や魅力をお伝えします。12月下旬から随時公開予定、お楽しみに！

<https://www.waseda.jp/library/news/2016/12/15/2679/>

- ・ りぶまぐ！

2016年以降、定期刊行している『りぶまぐ！』LIVSスタッフおすすめの本から、図書館の魅力まで、楽しい記事を掲載しています。2018年春にはvol 3が発行されます。ぜひお手にとってみてください！

- ・ Library Gifts あなたに贈る本

この冬は、LIVSメンバーが大切に思う人に贈りたい本を厳選して中央図書館に展示致します。

来年度の春には人気企画、「一行展示」を再び開催。LIVSメンバーが中央図書館をまたまたジャックし、皆さまの心にエールを送ります！！





Presented by
Waseda University Library Volunteer Staff “LIVS”

『りぶまぐ!』vol.2.5 金糸雀号 2017年12月15日発行

編集・発行：早稲田大学図書館・ボランティアスタッフLIVS

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学中央図書館 利用者支援課

TEL : 03-5286-1659

<http://www.wul.waseda.ac.jp/CLIB/livs/>

※本誌掲載の写真、記事、図版等を無断で転載・模写することを禁じます

本PDFは、執筆者の許諾のうえ冊子版を電子化し、
「早稲田大学リポジトリ」より公開するものです。
無断転載・転用を禁じます。

早稲田大学図書館